

火の魂カンパニーで働く皆さんいつも本当にありがとう。

今年も12月になり、あっという間に1年が過ぎ去ろうとしています。

本当に1年が経つのが早いですね。日々成長している人は1年が経つのが早いものです。年末年始は我々の業界は1年で1番の繁忙期になり大変多くのお客様が来店して下さります。目の前のお客様が我々の未来を創ってくれる事を良く理解して、「また会いたい」「誰かに紹介したい」と思っていただけ地域の皆様に愛される店作りをしていきましょう。1年の勝負どころである年末年始も、どうぞよろしくお願ひします。

さて、今月の社長からの手紙は、「成長する人」と「成長しない人」の違いについて話していきたいと思う。私は経営者として過去に何百人と仕事を通して関わってきた。その中で成長する人の共通点と、成長しない人の共通点がよく分かるようになった。仕事のできる人の共通点はシンプルに、仕事に対する優先度を間違っているし、もっと分かりやすく伝えるなら、一つ一つの仕事に対する「やり方」が間違っているので成果が出ない。それは、1つの与えられた仕事の「質」と「量」と「スピード」優先度と順番の関係性を理解できていない。成長する人の優先度は必ず「スピード」→「量」→「質」の順番で1つの仕事をやり遂げる傾向がある。私も思いついたら「すぐにやってみる」→「やってみて問題点を何度も改善する」(やりながら考える)→「最終的に質を高める」このやり方だと、即実行するので何がうまくいかないのかがよく分かるし、何度も改善しながら実行するから上司などのアドバイスの言っている意味がよく分かり、結果的に最速で質も高まり出来ないことが出来るようになるので「成長が早い」ということになる。それでは逆に「成長しない人」もしくは「成長が遅い人」の共通点は、必ずと行っていいほど最初から「仕事の質」にこだわり、頭の中で何度も考えても、実際に何もしていないから分からない中で、更に考え時間だけが浪費する。そして質にこだわって着手してみたら、全く見当違いの結果が出て最初からやり直して、更に質を高めるための考える時間を使ってしまう。このパターンだと結果的に上手くいかないのだから上司にダメだしをもらって凹んで、更に上手くいかないというループに必ず入るのです。大切なことは何十時間と考えた内容より、最初の10分で考えて即実行することで、間違ったら上司やチームからの指摘があって直ぐにリトライして軌道修正すること。結局何十時間考えてリトライしたら何十時間も損するし、10分考えて即実行すると上司や仲間からの指摘があれば10分のロスで良いわけです。『成長する人』の共通点を私なりにまとめると、①仕事の指示は10分も考えずに即実行する→②着手して上手くいかなかった事を上司やチームに相談する→③上司やチームに共有してアドバイスを受ける→④即実行の①に戻る。以下①→②→③→④の順で、何よりも①→②→③→④の「スピード」を最大限に加速させる人が「成長する人の共通点」であり、仕事のできる人の仕事の流儀となっているのです。